

奥入瀬溪流 子ノ口周辺 散策マップ

奥入瀬溪流は特別保護地区です。植物や石など持ち帰ることは禁止されています。



■自転車で快適サイクリング

溪流の爽やかなロケーションを自転車で堪能し駆け抜ける気持ちよさを体験してみませんか？電動アシスト付自転車をご利用ですと、登り坂もらくらく！溪流だけでなく、行動範囲も広がるのでお楽しみも増えますよ。

●貸出返却場所(全3ヶ所)

①奥入瀬溪流館②石ヶ戸休憩所③十和田湖観光汽船子ノ口案内所

●営業時間/8:30～16:30(子ノ口は、16:00終了)

●レンタル料
基本料金/電動アシスト自転車 4時間 1000円
シティサイクル 4時間 700円
追加料金/延長1時間毎300円/一台
乗り捨て300円/一台

●お問い合わせ/財団法人十和田湖ふるさと活性化公社
TEL 0176-74-1233(奥入瀬溪流館)

●奥入瀬溪流館

●溪流の駅おいらせ

●奥入瀬湧水館



■雪の回廊、樹氷

ハ甲田・十和田ゴールドラインの雪の回廊はよく知られていますが、十和田湖の北を走る国道102号線の御鼻部山でも、雪の回廊を楽しむことができます。標高は1011mで、ハ甲田・十和田ゴールドラインの最高地点である笠松峠(1020m)とあまり変わりなく、雪の多い日には4~5mの回廊が見ることが出来ます。脇に立ち並ぶ幹の白いダケカンパが美しく、4月以降でも樹氷が見られることがあります。

■七曲展望所

ここからの眺望はとてキレイ!!隠れたビューポイントの駐車スペースもあります。

この先に日本一の「ナナ」のナナがあります

◆JRハウス子ノ口(バス停)

JRバスの発着所として、観光案内所の役割を果たしており、バスの時刻や旅行者の予定から、その後の最適な行程をプランニングしてくれまますお気軽にご相談下さい。

◆子ノ口 湖畔食堂

食堂や大広間など合わせた収容人数は1000名！ヒメマスや十和田牛、きりたんぼ入りの「稲庭十和田うどん」が味わえ、店先のきりたんぼも焼きたてで美味しい冬休営業。

◆勝田屋みずうみ亭

十和田湖名物ヒメマス料理や秋田名産のきりたんぼが食べられます。冬期休業。

●松見の滝

「日本の滝百選」に選定されているハ甲田唯一の名瀑「松見の滝」は黄瀬川(おうせがわ)上流にあります。しかし、徒歩片道4時間の距離。健脚の方は是非チャレンジを...

●石ヶ戸休憩所

お土産やさんや食事コーナーがあります。

●三島の流れ

「阿修羅の流れ」ほど激しくありませんが音もたつ大岩が多数点在します。ムラサキヤシオツツジの名所!

●阿修羅の流れ

奥入瀬の代名詞ともいわれるべき景勝地。清流が水しぶきを上げて流れる光景は、圧巻。以前、県内にあった銭湯によく描かれていたようです。

●一目四滝、九十九島、御倉半島千丈瀑

「三絶景」と呼ばれます。それぞれに和歌があります。

※奥入瀬バイパスとのT字路から子ノ口までが4月下旬頃、奥入瀬バイパス 御鼻部山 黒石方面は4月7日開通です。



■東北自然遊歩道

北岸の歩道は自然豊かな歩道で、自然が厳しく保護されているエリアです。足場の悪い箇所もありますので、十分な準備とマナーを守ったトレッキングをお願いいたします。尚、途中がけ崩れのため、滝ノ沢への通り抜けはできません。

■大壘石

大壘石は、子ノ口から北へ2.5kmほどのところにある、湖に突き出た平らな岩場です。波の浸食や風化によって岩石が削られたもので、幅40m、長さ200mにも及びます。湖の水位によって見え隠れしますが、夏～秋など水位の低い時には岩場に下りることが出来ます。天気の良い日には、岩場でのんびりと景色を楽しみながら過ごすのがおすすめです。

■しづき氷

厳しい風雪が湖岸に打ち寄せると、その波しづきが岸の木々や岩にぶつかって凍りつき、「しづき氷」と呼ばれる氷柱が出来ます。特に風下にあたる東岸(子ノ口付近)で1月下旬から2月初旬頃に、しづき氷がよく見られ、繰り返される寒波によって氷柱も大きく成長していきます。

■二もれびゆうみロード

十和田湖の東岸に位置する子ノ口は夕日のスポット!子ノ口から守樺部へ向かう国道103号も、湖側から木々越しに夕日が差し込み、とても幻想的な光景が見られるので、「二もれびゆうみロード」と名付けました。

■ビューポイントロード

ここからの眺望もとてもキレイ!ですが、駐車スペースがありません。冬期閉鎖 4月下旬頃開通

■遊覧船クルーズ

おすすめの時間帯は季節問わず朝方!夕日が見れるのは秋の15:30～16:00くらい便利です。7月の霧(朝もや)がかかる時期もオスメの霧に包まれる体験もなかなか楽しいですよ。湖水祭では遊覧船から花火が見られます!船によって売店が無い場合がありますので「食べ物」を持ち込むと◎ ※遊覧船の時刻表を用意しています。おたずね下さい。TEL 0176-75-2909

■しづき氷(冬)

二もれびゆうみロード

■レンタサイクル

レンタルも用意されています。お気軽にご利用を!

■千両岩

この景観を「一万一千五百両の眺め」とよんでいます。

■白糸の滝

この四つを総称して「一目四滝」といいます。

■獅子岩

子ノ口方向から見て獅子に見えるが、鉦子大滝からだとただの岩にしか見えない

■水門

季節、時間によって水門を開閉し、奥入瀬溪流の水量を調節します。十和田湖は凍らない湖ですが、冬この辺は氷がびっしり...

■白布の滝

この四つを総称して「一目四滝」といいます。

■雲井の滝

一目四滝、九十九島、御倉半島千丈瀑を「三絶景」と呼ばれます。それぞれに和歌があります。

■雲井の滝

一目四滝、九十九島、御倉半島千丈瀑を「三絶景」と呼ばれます。それぞれに和歌があります。

■水門

季節、時間によって水門を開閉し、奥入瀬溪流の水量を調節します。十和田湖は凍らない湖ですが、冬この辺は氷がびっしり...

■桜ヶ浜

子ノ口からはじまる二もれびゆうみロードの湖岸は昔、オオヤマザクラの巨木が列をなして湖に下り、桜ヶ浜と呼ばれていました。今でも所々に桜の木があり、5月頃には綺麗な花を咲かせます。

■心に残る自分流の散策プランを

全部を見るとなると大変なので、見たいところを整理した時間割度で歩くルートをお勧めしています。流れを楽しみたいのか、滝を中心に散策したいのかで場所が異なりますからね。あとはバスをうまく利用して散策する方法も提案しています。JRハウスで時刻表もお取りしているので、お気軽にご相談下さい。TEL 0176-75-2244

お薦めのルート

●滝編 鉦子大滝から雲井の流れまでの50分コース

●流編 雲井から馬門バス停付近までの30分コース

●奥入瀬の代名詞「阿修羅の流れ」や九十九島が見えます。少し足を延ばせば石ヶ戸も見えます。

20分	50分	30分	30分	15分	70分
1.6km	2.6km	1.8km	1.8km	1.1km	5.3km
子ノ口	鉦子大滝	雲井の流れ	雲井の滝	馬門岩	石ヶ戸

★各区分のおおよその徒歩所要時間です。

■鉦子大滝の早朝散歩が素敵

朝の外気が冷たいとき、鉦子大滝のところに露が立ち、そこに木漏れ日射し込んで幻想的な光景が見られるんです。朝の早い時間6~8時で条件が揃った時だけのですが、是非見てほしいですね。他に、小壘石から青耳取口までの散策もその季節ごとの表情を変えて素敵なんです。

●十和田湖自然ガイドクラブ 吉崎さん TEL090-5181-7658